

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	香川 慎一	学校名	大東市立氷野小学校
実施学年	6年生	教科	算数
単元名	文字と式		

《学びを深めたいポイント》

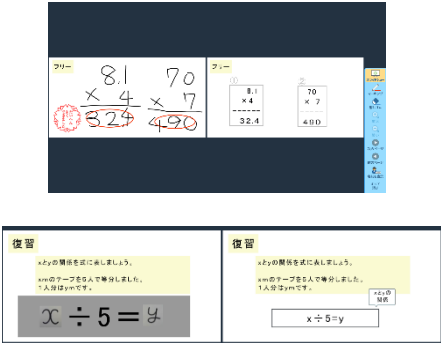
今単元では、タブレット端末をノート代わりとして活用させ授業を展開した。理由としては、子どもたちがICT端末を活用した授業の一定のゴールである自己調整力（自分で学習方法、手段を選択する力）を身に付けさせるためにも、タブレット端末活用のメリット・デメリットをまず子どもが知識として身に付け、その知識量を増やさなければ、自己調整もできないと考えたからである。

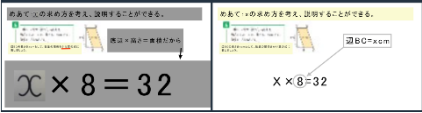
授業展開において学びを深めたいポイントとして、「共有」について視点を置き、ペアやグループ、学級全体と、自分以外の他者との交流（共有）を通して、自分の考えに自信を持ったり、違いを見つけたり、また考えを広げたりすることを最大に発揮できるのがICT端末であり、その時間こそ学びが深まる時だと捉えた。

《SKYMENU 活用のポイント》

まず授業展開の流れは、1個人思考（一人で考える時間）、2ペア・グループでの交流、3全体共有 4練習問題 5ふりかえり、が基本となっている。次に、SKYMENU 活用のポイントを具体的に見ると、1個人思考の段階では、配布したノートにタイピングでも手書きでも、自分が表現しやすいように表現させることを重点とした。2ペア・グループでの交流では、1で表現した画面を見せながら、画面だけに頼らず、あくまで説明する際の道具として使用することに重きを置いた。3全体共有では、個々の画面を一覧としてテレビに投影し、画面を選択しながら、自分と同じ考えも、また違う考えも子どもたち自身の説明で繋げていけるように声掛けをして臨んだ。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	・前時の復習 ①小数のかけ算 ②xとyの関係を式に表わす。		・手書き、タイピングを選択させる。 ・問題に対しての答えだけではなく、自分でコメント等を足していいことを伝える。

展 開	・平行四辺形の面積の求め方を考える。(底辺$\times$cmの場合) $\rightarrow x \times 8 = 32$ ・練習問題を解く。		・個人思考(一人で考える時間)の後の交流に備え、相手が理解できるようなノートへの表現を意識させる。 Teams(Microsoft) の Forms を活用して問題を解き、正答率から特に間違えた所を再度ふりかえるようにさせる。
ま と め	・ふりかえり		Teams(microsoft) の Forms でふりかえさせる。

《実践を振り返って》

今単元で、ICT 端末のみでの授業展開を通し、子どもたちのふりかえりから「ノートのときよりも、より分かりやすかった」という感想もあり、端末がもつメリットが明るみになったと感じた。また、プレテストの時間のみ、プリントを用意して理解度をはかったが、正答率が高かったこともあり今回の取り組みの手ごたえを感じた。より精選して今後も継続していきたい。